

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【公開番号】特開2008-220098(P2008-220098A)

【公開日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【年通号数】公開・登録公報2008-037

【出願番号】特願2007-56239(P2007-56239)

【国際特許分類】

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

H 0 1 M 10/44 (2006.01)

【F I】

H 0 2 J 7/00 3 0 2 C

H 0 1 M 10/44 P

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月3日(2010.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の電力を消費する第 1 のモードと、前記第 1 の電力よりも低い第 2 の電力を消費する第 2 のモードとを有する電子機器であって、

前記電子機器に接続されている第 1 の電池が前記第 1 の電池の残量を算出する機能を有する第 1 の残量検出機能付き電池であるか否かを判別し、前記電子機器に接続されている第 2 の電池が前記第 2 の電池の残量を算出する機能を有する第 2 の残量検出機能付き電池であるか否かを判別する判別手段と、

前記第 1 の電池が前記第 1 の残量検出機能付き電池であり、かつ、前記第 2 の電池が前記第 2 の残量検出機能付き電池である場合、前記第 1 の電池の残量と前記第 2 の電池の残量とを比較する比較手段と、

前記電子機器が前記第 1 のモードから前記第 2 のモードに変更される場合に、前記第 1 の電池の残量が前記第 2 の電池の残量よりも高いときは、前記第 1 の電池から前記電子機器への電力供給を停止させないようにするとともに、前記第 2 の電池から前記電子機器への電力供給を停止させるようにする制御手段と、  
を有することを特徴とする電子機器。

【請求項 2】

前記第 1 の電池が前記第 1 の残量検出機能付き電池であり、かつ、前記第 2 の電池が前記第 2 の残量検出機能付き電池でない場合に、前記電子機器が前記第 1 のモードから前記第 2 のモードに変更されるときは、前記制御手段は、前記第 2 の電池から前記電子機器への電力供給を停止させないようにするとともに、前記第 1 の電池から前記電子機器への電力供給を停止させるようにすることを特徴とする請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 3】

前記第 1 の電池が前記第 1 の残量検出機能付き電池でなく、かつ、前記第 2 の電池が前記第 2 の残量検出機能付き電池でない場合に、前記制御手段は、前記第 1 の電池及び前記第 2 の電池から前記電子機器への電力供給を停止させないようにすることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子機器。

【請求項 4】

前記電子機器が前記第２のモードである場合であって、前記第１の電池及び前記第２の電池のいずれか一つから電力が前記電子機器に供給される場合に、前記電子機器が前記第２のモードから前記第１のモードに変更されるときは、前記制御手段は、前記第１の電池及び前記第２の電池から前記電子機器への電力供給が行われるようにすることを特徴とする請求項１から３のいずれか１項に記載の電子機器。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

本発明は、電池を使用する電子機器に関する。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明は、電子機器に接続されている第１の電池及び第２の電池がＦＧ電池である場合に、当該電子機器が低消費電力状態になるときは、当該第１の電池及び第２の電池から並行給電が行われないようにすることを目的とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

本発明に係る電子機器は、第１の電力を消費する第１のモードと、前記第１の電力よりも低い第２の電力を消費する第２のモードとを有する電子機器であって、前記電子機器に接続されている第１の電池が前記第１の電池の残量を算出する機能を有する第１の残量検出機能付き電池であるか否かを判別し、前記電子機器に接続されている第２の電池が前記第２の電池の残量を算出する機能を有する第２の残量算出機能付き電池であるか否かを判別する判別手段と、前記第１の電池が前記第１の残量検出機能付き電池であり、かつ、前記第２の電池が前記第２の残量検出機能付き電池である場合、前記第１の電池の残量と前記第２の電池の残量とを比較する比較手段と、前記電子機器が前記第１のモードから前記第２のモードに変更される場合に、前記第１の電池の残量が前記第２の電池の残量よりも高いときは、前記第１の電池から前記電子機器への電力供給を停止させないようにするとともに、前記第２の電池から前記電子機器への電力供給を停止させるようにする制御手段とを有することを特徴とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

本発明によれば、電子機器に接続されている第１の電池及び第２の電池がＦＧ電池である場合に、当該電子機器が低消費電力状態になるときは、当該第１の電池及び第２の電池から並行給電が行われないようにすることができる。

【手続補正７】

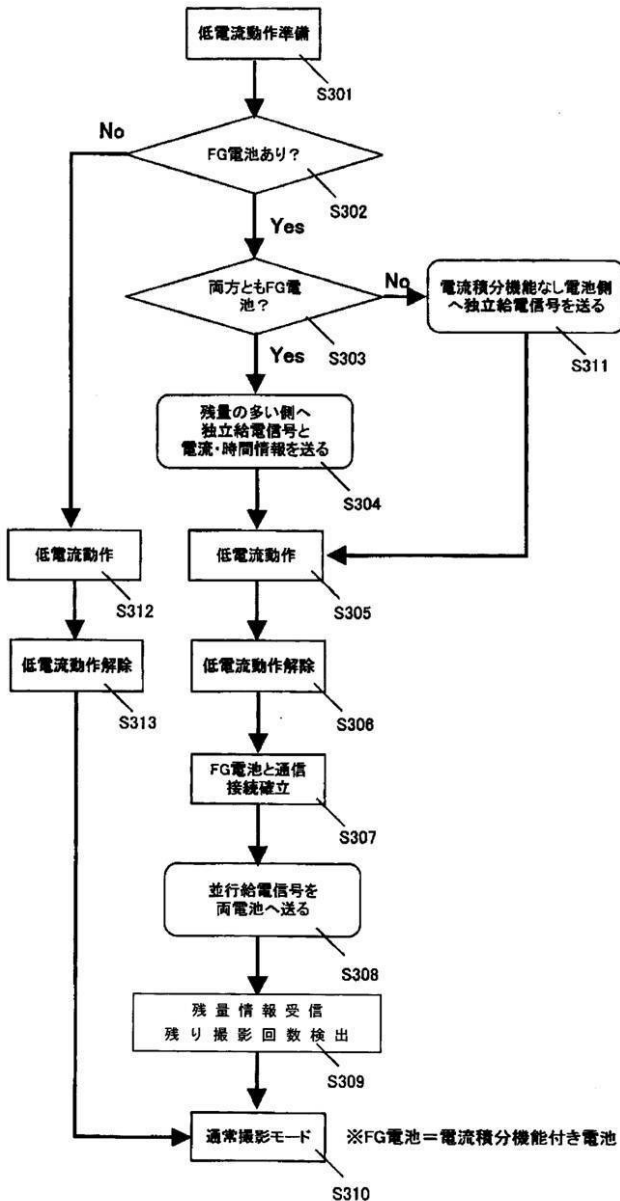
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図５】



【手続補正８】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6】

